

浜口陽三と桑原弘明、高島進、前田昌良

# 光へ漕ぐ舟

手から生まれるはるかな広がりに

休館日 月曜日(ただし祝日の9月18日、10月9日は開館)、  
9月19日(火)、10月10日(火)

開館時間 11時~17時(土日祝10時~)、最終入館16時半

ナイトミュージアム 会期中の第1・3金曜日\*は20時まで開館、最終入館19時半  
(\*9月1日、9月15日、10月6日、10月20日、11月3日、11月17日)

入館料 大人 600円 / 大学生・高校生 400円 / 中学生以下 無料

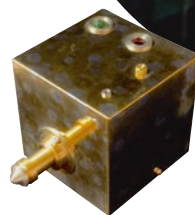


Musée  
Hamaguchi  
Yozo:  
Yamasa  
Collection

ミュージゼ浜口陽三・ヤマサコレクション



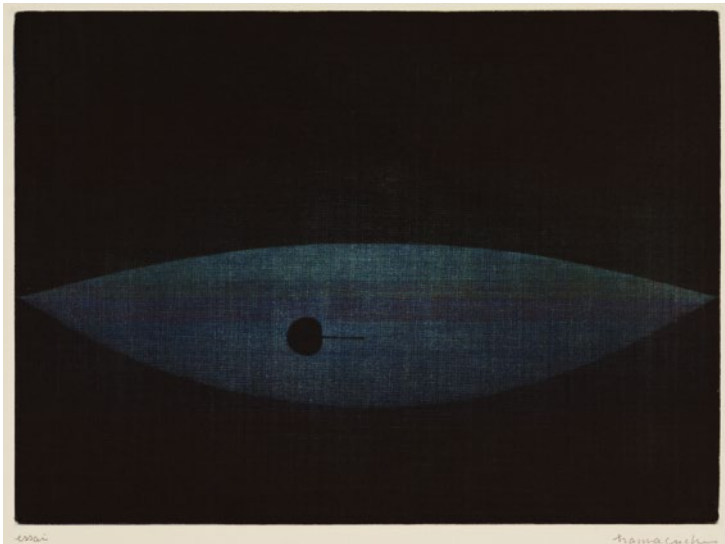
TAKASHIMA Susumu 《drawing for copper point, clear gesso and paper / gate B (yin)》※部分  
9:40-13:04 | May 2023 copper, clear gesso, paper (Fabriano Rosaspina bianco 220g/m) 35×34cm (14×14cm)



KUWABARA Hiroaki  
《鮮明な夢を見た》2022  
ミクストメディア 9.5×7.7×7.3cm  
個人蔵

2023 秋の企画展

8.26 sat. — 11.19 sun.

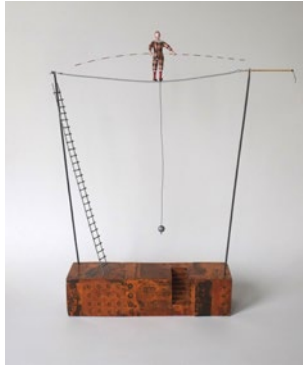


HAMAGUCHI Yozo 《黒いさくらんぼ》 1960 カラーメゾチント 19.4×26.6cm



MAEDA Masayoshi 《少年の日々》 2017~2020 木、金属、針金、塗料 高さ13~15cm ※作品はイメージです

■浜口陽三の銅版画の前に立つと、色の柔らかさと静けさに包みこまれます。その浜口陽三作品と共に、現代において繊細で澄んだ表現を追う作家三人を紹介します。■手に包めるようなスコープの中に、静かな世界をつくる美術家・桑原弘明。主観を排除し、素材と道具のためのドローイングを続ける高島進。小さな動く彫刻に、純真な夢を込める前田昌良。■小さな形や微かな線が遙かな広がりをお包みます。地平から空へ永遠へといぎなう、四人の作品世界をご鑑賞ください。■展覧会の顧問として、美術史家の矢内みどりさんをお招きしました。



前田 昌良 MAEDA Masayoshi

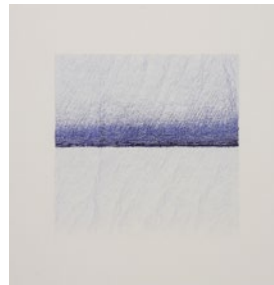
1956年大阪市生まれ。1983年東京藝術大学大学院修了。絵画と小さな動く彫刻で個展を重ねる傍ら、『猫を抱いて象と泳ぐ』(文春春秋)『別れの色彩』(新潮社)等、多くの本のカバーを担当。2014年「前田昌良—小さな動く彫刻の世界」横須賀美術館。小さな動く彫刻は静かに語りかけます。この展覧会では、絵画と小さな動く彫刻を一堂に展示します。毎日11:30、14:30、ナイトミュージアムの日には18:30頃に、小さな動く彫刻を動かしてご覧いただけます。

左 《網渡りの人生》 2005 木、金属、針金、塗料 高さ46cm  
右 《木馬と少年》 2020 木、金属、針金、塗料 高さ34cm 個人蔵

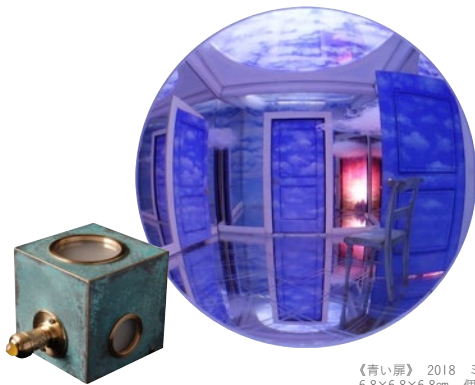
高島 進 TAKASHIMA Susumu

1959年兵庫県生まれ。1982年武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。武蔵野美術学園で2年間、更にメキシコのアジェンダ美術学校で1年間、絵画を学ぶ。2000年多摩美術展で大賞を受賞。取蔵：青梅市立美術館。

筆の線は、インクを含んだ最初が太く濃く、徐々に細くなり、かすれていきます。反対に、色鉛筆や金属芯の線は、先を尖らせた最初が細く、徐々に太くなります。これら太さが変わる線を、規則的に反復し埋め尽くす事で、それぞれ素材固有の線の結晶体とも言える作品が生まれます。



左 《Drawing for brush, ink and paper - single dip》 12:02-18:01 13 Jul 2022 pigment ink, Chinese paper 35×35cm  
右 《drawing for copper point, clear gesso and paper / gate B (yin)》 9:40-13:04 | May 2023 copper, clear gesso, paper (Fabriano Rosaspina bianco 220g/mi) 35×34cm (14×14cm)



《青い扉》 2018 ミクストメディア 6.8×6.8×6.8cm 個人蔵

桑原 弘明 KUWABARA Hiroaki

1957年茨城県生まれ。多摩美術大学油画科卒業。80年代より極小のオブジェ作品を制作。1995年巖谷國土の序文を得て渋谷アートスペース美蕾樹で初個展。以降、グループ展、美術館での展示多数。

小さな真鍮のスコープを、光をあてながらのぞくと、中にある世界の時間が移ろったり、思わぬ風景が現れたりします。

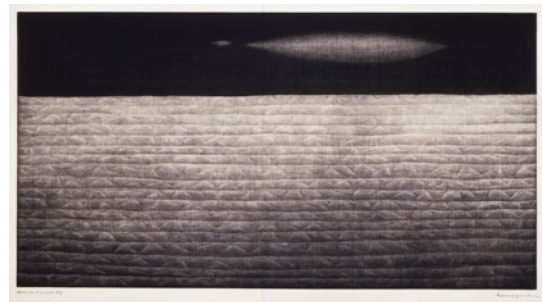


スコープの中は、指先に乗るほど小さく精巧なオブジェがとじこめられています。

浜口 陽三 HAMAGUCHI Yozo

1909年和歌山県生まれ。戦後のパリで、新しい銅版画の技法、カラーメゾチントを開拓し、その技法を用いた作品により、国際コンクールで受賞歴を重ね、20世紀を代表する銅版画家として活躍した。

銅の板を長い時間をかけて彫り、神秘的な画面を生み出します。銅の彫り加減によって、背景の闇に光が宿ります。



左 《朱色の蝶》 1979 カラーメゾチント 14.7×5.7cm  
右 《雲》 1958 メゾチント 26.3×49.2cm

Events

どちらも予約なし、入館料のみでご覧ください。

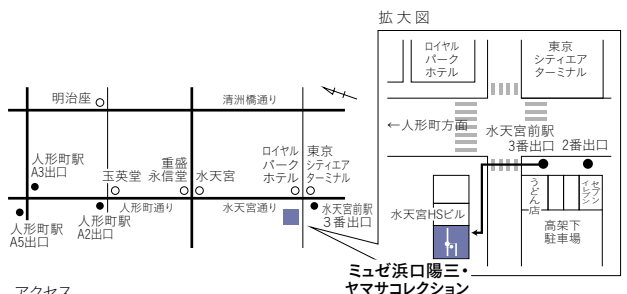
- 出品作家のギャラリートัวร์ □ 出品作家のデモンストレーション
- 三人の作家と矢内みどり 高島 進 10/9(月) 14:00～  
8/26(土) 14:00～ 前田昌良 10/13(金) 14:30～

ミュージゼ 浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7  
Tel\_03-3665-0251 HP\_https://www.yamasa.com/musee/

2023 Autumn Exhibition  
Boat Rowing to the Light ~Far-Reaching Breadth Born from the Hands~  
HAMAGUCHI Yozo with KUWABARA Hiroaki, TAKASHIMA Susumu, MAEDA Masayoshi

Musée Hamaguchi Yozo: Yamasa Collection  
1-35-7 Kagigaracho, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, Japan 103-0014  
Closed: Mondays (or Tuesdays when national holidays fall on a Monday)



アクセス  
東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば  
東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分  
都営浅草線[人形町]A5出口徒歩10分



Access



Musée Hamaguchi Yozo: Yamasa Collection

